

第9回九州森林フォーラム in 鹿児島

2008年2月29日(金) 「木組みの家」見学会：鹿児島市周辺
3月1日(土) フォーラム：かごしま県民交流センター



「木組みの家」の可能性

～風土の中で培われた匠の知恵を見直そう～

2月29日(金) 「木組みの家」見学会

13時：鹿児島中央駅西口バス駐車場集合 (蒲生の家/設計：降幡廣信ほか鹿児島市周辺の住宅) 定員：50名

18時：懇親会 ホテルパレスイン鹿児島 (会費 4,500円)

3月1日(土) 第9回九州森林フォーラム in 鹿児島 10:00～16:30

「木組みの家」の可能性 ～風土の中で培われた匠の知恵を見直そう～

会場：かごしま県民交流センター大研修室第二 定員：150名 参加費：無料(資料代1,000円希望者のみ)

基調講演 山辺豊彦氏(山辺構造設計事務所/東京都)「伝統型構法住宅の現状と可能性」

事例発表 古川保氏(すまい塾古川設計室/熊本市)「川上との連携で進める伝統型構法の家」

米谷良章氏(米谷良章設計工房/宝塚市)「震災体験を通して考える木組みの家」

パネルディスカッション 山辺豊彦氏 古川保氏 米谷良章氏

浦田功氏(屋久島大屋根の会、かごしま地材地建グループ連絡協議会員)

中俣知大(数寄案舎/薩摩川内市 鹿児島建築士会川薩支部 入来麓集落耐震調査報告)

コーディネーター 村田義弘(建築工房自然木(じねんもく)/鹿児島市 九州森林ネットワーク理事)

[主催] NPO法人九州森林ネットワーク

[共催] (財)かごしまみどりの基金、かごしまウッディテックフォーラム、かごしま地材地建グループ連絡協議会、鹿児島県木材住宅推進協議会

[後援] 鹿児島県、鹿児島県建築士会、北薩匠の家づくり協議会、熊本県小国町、宮崎県諸塚村、(株)トライウッド、耳川広域森林組合、浮羽森林組合(予定)

<建築士会継続能力開発(CPD)認定プログラム> (一日6単位)

<申し込み問合せ先> NPO法人九州森林ネットワーク事務局(小国町森林組合事務所内) Tel 0967-46-2411

E-mail info@ogunisugi.com

URL <http://www.geocities.jp/shinrin9net/>

第9回九州森林フォーラム in 鹿児島

2008年2月29日(金) 「木組みの家」見学会：鹿児島市周辺
3月1日(土) フォーラム：かごしま県民交流センター

「木組みの家」の可能性 ～風土の中で培われた匠の知恵を見直そう～

我々がこれまで住み続けてきた日本の伝統的な家は、それぞれの地域の豊かな風土の中で、長い時間をかけて培われた匠の技によって造られてきました。地元で産出する素材を使い、何代にも渡って住まわれる家は、集落を囲う山々と共に、その地域らしい落ち着いた景観風景を形成してきたのです。

一方、現在一般的に行われている在来工法は、元々、戦後の物資の乏しい時に考えられた、最小限の資材で大量の住宅を供給するために考えられた工法でした。その後の震災等への対応で建築基準法や住宅金融公庫の仕様が改定され、筋交いと金物で軸組を固めることで耐震性を確保する工法に改良されました。木材の加工もプレカット工場で行われることが多くなり、工法の変化の中で、伝承すべき匠の技、知恵が忘れ去られようとしています。

日本の家は、本来、木組みの家としての構造的な美しさを持っています。その構法は、意匠性だけでなく、川上川下が協力して作り上げてきた資源の有効活用、省エネルギー、環境共生などの今日的な課題に答えるエコロジカルな住宅生産システムとしても、見直されるべき技術です。

今回のフォーラムでは、各地で伝統的な匠の技術を取り入れた家づくりに取り組んでいらっしゃる建築家の方々に作品や軸組の設計手法を紹介していただき、「木組みの家」の今日的な意味と可能性を考えます。また、大工と共に進めてきた軸組の実大実験から解ってきた最新の情報や木材の乾燥方法に関する実験データなども紹介いただきながら、実際に「木組みの家」を進めていく上での留意点とこれからの課題についても議論し、日本の風土の中で培われてきた、木材を素材としてとらえ、その特性を生かして使う匠の知恵を見直します。

NPO 法人九州森林ネットワーク

基調講演者プロフィール

山辺豊彦氏（やまべ・とよひこ）

1946年 石川県生まれ。1969年 法政大学工学部建設工学科建築専攻 卒業
青木繁研究室 入所 1978年 山辺構造設計事務所 設立
NPO緑の列島ネットワーク 理事、日本建築構造技術者協会 資格問題委員会主査、日本建築士会連合会専攻建築士評議会委員。

■主な作品

西鹿児島駅東口再開発ビル、大森東1丁目団地、棚倉町立社川小学校、つくば市立東小学校、保存修理：切幡寺大塔、吉田家住宅、建長寺法堂、長遠寺本堂・客殿、雨錫寺阿弥陀堂

■受賞歴

1997年 第7回RM賞 大森東1丁目団地、1999年 JSCA 賞佳作賞 木材を活用した学校施設の構造設計（つくば市立東小学校、棚倉町立社川小学校） 1999年 BCS 賞 棚倉町立社川小学校

■著書

「あたたかみとうるおいのある木の学校」文部科学省/文教施設協会
2004.8 共著、住宅建築別冊「民家型構法の家づくり」現代計画研究所
2002.11 共著、「絵解き 住まいを守る耐震性入門」2006.5 風土社監修
『住宅建築』1998.5～2000.1「木構造の標準仕様づくり」
『住宅と木材』2002.4「伝統型構法の動的応答解析の試み」
『建築知識』2002.9～2002.12「ヤマベの木構造」
『建築技術』2003.11「丈夫な木造軸組住宅の架構と設計」
『住宅建築』2003.10, 2003.12, 2004.02「徹底解析!! 渡り腰構法」

事例発表者プロフィール

古川保氏（ふるかわ・たもつ）

1947年 佐賀県生まれ。1971年 熊本大学工学部土木工学科卒業。1992年
すまい塾 古川設計室(有) 設立 熊本県立大学住環境学非常勤講師

■受賞歴

1996年 日本建築士会連合会まちづくり大賞。1999年 九州建築士会住宅コンペ最優秀賞。1999年 JIA 第3回熊本建築家の会住宅賞。2000年 JIA 第4回熊本建築家の会選考委員賞。2004年 熊本の杉の家づくりコンペ優秀賞。2005年 フォレストモア（東京ガス）審査委員賞。2005年 真の日本の住まい住宅コンペ 林野庁長官賞。2006年 第2回木の建築フォーラム「木の建築賞」

■著書

建築ジャーナルへ「古川保のこんなものいらない」を連載中

米谷良章氏（まいたに・よしあき）

1962年 兵庫県生まれ。1987年 京都工芸繊維大学卒業。現代計画研究所に入所、東京事務所勤務。1993年 現代計画研究所大阪事務所に転勤
常に木造住宅の設計監理に携わりながらも、公共集合住宅などの公共建築物の設計やまちづくりに携わる
1995年 阪神淡路大震災 2000年 米谷良章設計工房発足
独立後は一戸建ての木造住宅、マンションリフォーム、耐震改修など、住宅を中心に、小さな福祉施設などの設計監理も行っている。「テルチンびと」「住宅建築」等の雑誌での掲載多数。